



# かながわ湘南西



## 障福ナビだより

令和6年9月30日 第133号

社会福祉法人 常成福祉会 丹沢自律生活センター総合相談室 湘南西部圏域地域生活ナビゲーションセンター  
〒259-1302 神奈川県秦野市菩提 1711-2 ☎ 0463-71-5872 Fax 0463-75-3377 E-mail:soudan@jousei.or.jp

### 令和6年度第1回湘南西部圏域自立支援協議会から 第37回神奈川県障害者自立支援協議会への課題報告



令和6年7月31日(水)に秦野市保健福祉センターにおいて、令和6年度第1回湘南西部圏域自立支援協議会を開催しました。

今回の会議は、対面開催では初めて会議資料を事前配布し、効率的な会議運営を目指しました。議題は、定例の「年度の重点予定」に加え、「改正精神保健福祉法施行後の地域の状況・にも包括の取り組み状況」、「グループホームを支える地域

の取り組み」を用意し、意見交換を中心に進めました。その結果、「重度障害のある方を支援する、日中サービス支援型に代表されるグループホームにおいて、支援の質が十分とは言えない事業所が散見される」ということを圏域の課題として、8月21日(水)に開催された第37回神奈川県障害者自立支援協議会に報告することになりました。

第37回神奈川県障害者自立支援協議会では、上述の当圏域の課題の詳細として、

- ① 市町協議会での事業評価(日中サービス支援型のみ対象)で、時間を割いて、適切な助言ができる場を設けているが、助言が役立てられている様子が確認できず、何年も同じ助言を繰り返している事業所が相当数ある。
- ② 市町グループホーム連絡会等の活動に参加を促して横のつながりを作り、孤立を防ぎ、研修会・事例検討会を開催してスキルアップを支援しているが、職員の入れ替わりが多く、支援スキルの蓄積がないまま、重度障害のある人の受入れをしている。そのため、短期間での退去や、他害行為につながり、悪循環になっている。…等。

を説明し、「どうすれば、地域として、重度障害者を受け入れているグループホームの運営会社等が、支援現場の体制を整え、支援の質を担保できるようになるか。どのような働きかけができるか。」について、神奈川県障害者自立支援協議会で協議していただきたいことを伝えました。他圏域からも同様の課題提起があったことから、今後は、行動障害のある方への支援と合わせて、ナビ会議等を活用し、継続して協議することになりました。

※ 神奈川県障害者自立支援協議会の会議資料、議事録は、神奈川県のホーム

ページで確認いただけます。 <https://www.pref.kanagawa.jp/docs/yv4/cnt/f536582/index.html>



# 令和6年度第1回湘南西部圏域重心・医療的ケア児者支援NW会議（かながわ医療的ケア児支援センター湘南西部ランチ会議）開催報告



令和6年9月12日(木)に、大磯町生涯学習館で開催しました。

医療的ケア児の幼稚園・保育園の利用に関する議題では、平塚市から、今年4月に医療的ケア児の保育所等受入れガイドラインを作成し、令和7年4月から公立保育園で医療的ケア児を受け入れる予定であるとの報告がありました。かながわ医療的ケア児支援センター湘南西部ランチ（以下、「湘南西部ランチ」という）では、医療的ケア児の幼稚園・保育園の利用促進に力を入れていますが、圏域内での大きな進展を共有する場になりました。



災害への備えに関する議題では、能登半島地震直後の開催であった前回会議もそうですが、今回は圏域内各地に爪痕を残した8月末の台風10号の直後でもあり、情報交換は熱を帯びました。平塚市からは、今年4月から日常生活用具に「人工呼吸器用非常用電源装置」、「人工呼吸器用外部バッテリー」が追加されたことの報告がありました。何年も前から本会議でも話題に挙がっていましたが、ついに湘南西部圏域でも支給できる地域が誕生しました。関連して、平塚保健福祉事務所からは、研修会「非常用の電源で、動かしてみよう医療機器」（10/4、18開催）の案内がありました。この研修は、停電対策の一つとして電気自動車やポータブル蓄電池からの安全な給電について学ぶことを目的としています。非常用電源については、立場の違いにより様々な見解があることは承知していますが、当事者の方々がいざという時に困らないように、支援者もこういった勉強会に参加して理解を深める必要があります。機械もユーザーのニーズに応じて新しくなっているため、正しい知識に基づいて行動を選択していくことが大切だと感じました。努力義務化されている個別避難計画は、全ての地域で検討されていますが、新たに平塚市がモデルケースの作成を終えたとの報告があり、伊勢原市に続いて2か所目になります。

当事者ご家族からは、成人への移行期における小児科からの主治医の変更の難しさについて課題提起がありました。他の参加者からも、数年かけてやっと他市で主治医を引き受けてくださる医師が見つかった方の話や、他県の医療機関では移行期前に地域の総合病院につないでいることの報告がありました。この件については、湘南西部ランチが主任コーディネーター会議で課題報告を行う予定です。

神奈川県障害福祉課から「神奈川県医療的ケア児等支援庁内連携会議」のホームページが新設されたと案内がありました。医療的ケア児の支援者の方は、要チェックです。<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/yv4/cnt/ikea/chounairenkei.html>



【お詫びと訂正】令和6年7月31日発行の本紙第132号の裏面に掲載した、「令和6年度湘南西部圏域内の機能強化型・体制加算を算定する事業所一覧」において、二宮町の体制加算算定事業所は空欄でしたが、いずれにも「地域支援センターそしん」が入りますので、お詫びして訂正させていただきます。訂正済みの一覧は、当ナビホームページに掲載の本紙第132号をご覧ください。